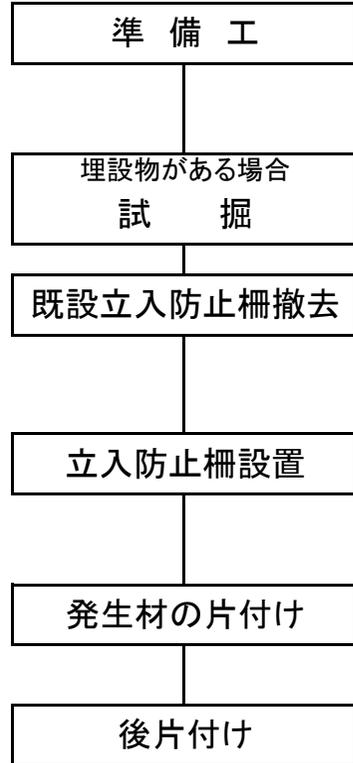


立入防止柵取替工 作業手順



内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全作業指示書による 指示書の内容確認 保護メガネ、ゴム手袋等 日常点検の実施(老朽化した部品は交換する)
支柱基礎を新設する時は、埋設ケーブルを確認する為、試掘を行う 支柱が再利用できる時は、試掘(立ち会い)は、不要である	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける
破損した既設立入防止柵の撤去 破損した立入防止柵はスパナ、ラチェットレンチ、ワイヤークリッパー等で解体し撤去する 支柱をクレーンまたは、人力で撤去する	金網線、張線や有刺鉄線の跳ね返り等に十分注意する 撤去した立入防止柵は、現場内の邪魔にならない箇所に整理整頓しまとめておく クレーン作業時は、作業半径内に十分注意し、有資格者が行う
基礎を設置するため穴を掘る 新しい基礎、支柱、胴縁、金網、有刺鉄線等の取付 設置した立入防止柵の設置高さ、延長等の確認	地下埋設物に損傷を与えないように注意して掘削する。 鉄線を通す時や有刺鉄線を張る時は、防護メガネを装着して、目に鉄線等が当たらないよう充分注意する
整理整頓された、発生材をトラックに積み込む	クレーン作業時は、作業半径内に十分注意し、有資格者が行う 吊り荷の下へは絶対に入らない
使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する 終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。 ヒヤリハットの実施

注意事項

機械作業は、有資格者が操作を行う
吊り荷の下へは絶対に入らない
基礎、支柱等重量物は、足などに落下させないように十分注意して取り扱う
重量物を持つ場合は、複数人数で声を掛け合って姿勢に充分注意して行う。無理はしない
規制内では、作業開始前に避難場所を定めて「避難訓練」を実施する
支柱打設や掘削を行う場合は、埋設物の確認を必ず行い、適宜立会確認を受ける